

スガウェザリング技術振興財団 第25回 財団表彰・第26回 研究助成 贈呈式 及び 祝賀会

日時:平成 19 年 4 月 26 日(木)
11 時 15 分～13 時
場所:東海大学校友会館



表彰式会場



林 幸秀
文部科学審議官



須賀長市
理事長



清水 司
審査委員長



銅版記念楯
「正倉院」



銅版記念楯
「ギリシャ神話像」

今年で表彰第 25 回、研究助成第 26 回を迎え、第 1 回(昭和 57 年度)より表彰は、団体 14 件、個人 118 名、研究助成は 195 件を数える。

式は、須賀長市理事長の挨拶、清水 司審査委員長(東京家政大学理事長)の審査報告に続き、表彰並びに助成金の贈呈が行われ、林 幸秀文部科学審議官より、ご祝辞を戴いた。

引き続き記念祝賀会においては、近藤次郎理事(東京大学名誉教授・元日本学術会議会長)よりご祝辞を戴き、春山志郎評議員会議長(東京工業大学名誉教授・元腐食防食協会会長)の発声で乾杯をした。

本年は財団研究のパネルを展示・説明も行い、例年通り出席者も多く、和やかな中にも格調高い祝賀会となり、盛会であった。

祝賀会場



近藤次郎 理事



春山志郎 議長







財団研究
パネル展示






第 25 回(平成 18 年度)財団表彰

科学技術賞(個人)

| | | |
|--|--|--|
|  | <p>山中 雅彦</p> <p>日産自動車株式会社技術開発本部 材料技術部主任エンジニア (現アドバンスト・ソフトウェア部)</p> | <p>自動車の耐候性評価に関する研究</p> <p>自動車用塗膜の耐久性に着目、自然及び使用環境の塗膜に及ぼす影響を検討、塗膜異常の発生メカニズムを明らかにしている。</p> |
|  | <p>藤田 栄</p> <p>JFE スチール(株) 表面処理研究部 部長</p> | <p>腐食促進試験法を用いた自動車防錆鋼板の耐穴あき腐食寿命予測技術の開発</p> <p>北米融雪塩地域を走行した車両を回収、詳細に解析し腐食促進試験結果との相関について長年に亘り取り組み、めっき鋼板の腐食速度の対比を計算した指標とし、寿命予測。</p> |
|  | <p>和田 法明</p> <p>バンドー化学(株) R&D センター 副参事</p> | <p>各種ゴム材料の耐候性寿命予測及びそのための耐候性標準試料の確立</p> <p>ゴム材料の耐候性評価において、劣化度を評価するために適している特性を劣化メカニズムの中から見出した。その成果と活動は国際的に非常に価値がある。</p> |
| <p>特別技術功労賞</p> | | |
|  | <p>馬込 正勝</p> <p>大阪産業大学 工学部 交通機械工学科 教授</p> | <p>Al,Zn 及びそれらの合金溶射皮膜の複合サイクル試験評価に関する研究</p> <p>標記研究により、現在、橋梁、高速道路などに Al、Zn 及びそれらの合金溶射皮膜を使用する場合の評価法に、複合サイクル試験が採用されている。</p> |

第 26 回(平成 19 年度)研究助成金贈呈者

| | | |
|---|--|--|
|  | <p>堀 勝</p> <p>名古屋大学 大学院 工学研究科 教授</p> | <p>リモートプラズマ試験槽内でのラジカル絶対密度測定</p> <p>リモートプラズマ促進耐候試験法を用いた時の試験条件の一定化や劣化機構の解明のため、正確なラジカル絶対密度の測定を目的とする。</p> |
|  | <p>伊藤義人</p> <p>名古屋大学 大学院 工学研究科 教授</p> | <p>鋼橋の角部およびボルト部の防食性能に関する実験的研究</p> <p>標記研究に基づき角部の形状及び防食系ごとの劣化メカニズムを解明、劣化寿命や防食性能を定量的に評価する。</p> |
|  | <p>青木 隆平</p> <p>東京大学 大学院 工学系研究科 教授</p> | <p>カーボンナノ材料分散による樹脂の耐候性向上に関する研究</p> <p>カーボンナノ材料が有する遮光性とガス拡散抑止を利用し、樹脂基材の繊維強化複合材料の耐候性を向上させる。</p> |

(敬称略)

編集部